

【立川市】自転車活用推進計画（R2年度～R6年度）

施策		指標	H31年度末時点	目標
安全性の向上	民間事業者等と連携した保険加入の広報・啓発	自転車保険加入割合	53.2%	80%
	高齢者向けの自転車安全教育 企業における自転車安全教育	安全教育受講経験者割合	52.2%	63%
快適性の向上	駐輪環境の快適性向上	思いやりエリア設置施設数	10施設	23施設
		定期利用抽選倍率（抽選対象施設平均）	4.0倍	2.6倍
	多様な自転車を利用しやすい環境整備	多様な自転車を利用しやすい環境整備の実施	－	－
	自転車撤去の実施と今後のあり方に関する検討	市内放置自転車台数	238台	90台
新たな価値の付加	商業・観光関係者等と連携したシェアサイクル導入検討	シェアサイクルの実施	－	－
	健康づくり関連事業と連携した周知、啓発	健康づくり関連事業と連携した周知、啓発の実施	－	－

【東京都】東京都自転車活用推進計画（令和3年～12年度）

施策		指標	現況値	目標
環境形成	自転車通行空間の整備	自転車通行空間の優先整備区間（都道）	320km （2020年度）	約570km （2030年度）
		自転車通行空間の臨港道路等	32km （2020年度）	約45km （2030年度）
	区市版自転車活用推進計画の策定促進	区市版自転車活用推進計画の策定促進	2区市 （2021年1月）	49区市 （2030年度）
	広域利用の促進	広域利用が可能な自転車シェアリングを実施する自治体数	19区7市 （2021年1月）	自治体数の増加 （2030年度）
	放置自転車対策の推進	駅前放置自転車台数	19,487台 （2020年度）	15,000台以下 （2025年度）
	安全対策の実施	ゾーン30	364区域 （2019年度）	460区域 （2025年度）
健康増進	身近なスポーツ環境の創出	海上公園内サイクリングルートの整備	7.5km （2019年度）	11.5km （2024年度）
観光振興	自転車マップの作成	自転車マップの更新・充実	約30閲覧/日 （2021年2月）	HP閲覧数の増加 （2030年度）
安全・安心	自転車の安全利用の促進	自転車乗用中死者数	34人 （2020年）	18人以下 （2025年）
		自転車関連事故件数	10,407件 （2020年）	7,000件以下 （2025年）

【町田市】自転車活用推進計画（R4年度～R8年度）

4つの施策の柱	指標	現状値	目標値
はしる	自転車通行環境整備延長	3.2km （2021年度末）	6.6km （2026年度末）
とめる	放置自転車数	8,572台 （2020年度）	2020年度比 10%減 （2026年度）
まもる	自転車の安全利用に関する啓発人数	6,502人 （2019年）	9,000人 （2026年）
いかす	交通手段における自転車の利用割合	－ （2020年度）	現状値より増加 （2026年度）

【板橋区】自転車活用推進計画（R4年度～R7年度）

指標		現状値	目標値	
			R7（2025）年	R22（2040）年
自転車通行空間整備	自転車道、自転車専用通行帯、矢羽根型表示（車道混在）で整備した区道の延長	5km	45km	200km
自転車分担率	外出をした人のうち自転車を使った人の割合	16%	－	20%
	自転車通勤した人の割合	13%	－	16%
シェアサイクル	年間利用総回数	23.7万回	29万回	50万回
	回転率（1台1日あたりの利用回数）	0.5回転	0.6回転	1.0回転
整備した自転車通行空間の利用	自転車通行帯を正しく運行した自転車の割合	88.5%	88.8%	90%以上
自転車交通事故	自転車対クルマ、自転車対二輪車の事故件数	245件	220件	120件
	自転車対歩行者、自転車相互、自転車単独事故の件数	95件	85件	45件
放置自転車	区内主要駅周辺の放置自転車台数	602台	540台	300台
施策別区民満足度	自転車通行空間整備	71%	67%	51%
	自転車駐輪環境整備	55%	51%	35%
	シェアサイクル利用環境	17%	13%	0%
	次世代型モビリティの利用促進	7%	5%	0%
	運動習慣と外出機会の創出	15%	11%	0%
	自転車安全運転ルールの徹底	54%	50%	34%

【大田区】自転車等総合計画（R4年度～R13年度）

項目	現状値	評価の目安となる数値
放置自転車台数	835台 （R2年度）	500台 （R13年度）
駅周辺の自転車等駐車場が足りていないと感じる人の割合	68.1% （R元年度）	50% （R13年度）
自転車ナビマーク・ナビラインの認知度	75.9% （R元年度）	90% （R13年度）
車道左側通行を遵守していない人の割合	24% （R元年度）	18% （R13年度）
自転車事故件数	593件 （R2年）	340件 （R13年）
他の自転車から受けるヒヤリハット経験がある人の割合	88.9% （R元年度）	67% （R13年度）
自転車利用者の割合	59.3% （R2年度）	70% （R13年度）
余暇時間にサイクリング等を実施している人の割合	13.1% （R元年度）	24% （R13年度）
シェアサイクルの認知度	33.9% （R2年度）	50% （R13年度）
シェアサイクルの年間利用回数	446,780回 （R2年度）	547,500回 （R13年度）